

1 「頭頸部腫瘍」の説明

頭頸部という言葉は一般には聴き慣れない言葉と思います。簡単に言うと「頭頸部」とは頭と頸の全体から脳と眼を除いた部分と考えて頂ければよろしいかと思えます。つまり、耳、鼻、口、のど、喉頭、くび、が頭頸部ということです。その頭頸部に出来た何らかの腫れ物を頭頸部腫瘍と呼びます。鼻の中の腫れ物、舌に出来た腫れ物、声が嘎れる腫れ物、食事が通らなくなるのどの腫れ物、耳の下や顎の下の腫れ物、甲状腺の腫れ物などはすべて頭頸部腫瘍と呼ばれます。頭頸部腫瘍を専門的に診察、治療する所が頭頸部腫瘍センターです。

2 「頭頸部腫瘍」の治療法の説明

頭頸部腫瘍と一言で言ってもいろいろな病気があります。大きく分けると良性腫瘍と悪性腫瘍（癌）に分けられます。良性腫瘍に対する治療法は主に手術です。良性ですのでそのままでも死に至るものではありませんが、次第に大きくなり、日常生活に支障が出ることが多いです。そのため手術で切除することが一般的な治療法です。悪性腫瘍（癌）に対する治療法は主に手術、放射線治療、抗癌剤治療があります。多くの場合最も有効な治療法は手術です。癌の種類によっては放射線治療を選択することもありますし、抗癌剤と放射線を同時に組み合わせて治療することもあります。中頭病院頭頸部腫瘍センターでは主に手術による治療を行っております。放射線治療は設備がないため現在は出来ません。抗癌剤による治療は血液内科専門の先生の協力で行っております。手術の際、必要な場合は当院の外科や形成外科の先生に協力を依頼し、最善の手術を行う体制を取っております。

3 外来診療

外来診療日は金曜と土曜の午前です。

4 手術日

火曜日、木曜日は1日手術日です。外来診療は出来ません。

5 診療内容

主な良性腫瘍の手術の内容を簡単に説明致します。

1) 耳下腺腫瘍

耳下腺は両方の耳の下にあります。唾液を作るところです。耳下腺にはい

ろいろな良性腫瘍が出来ます。うまく切除することが大切で、特に耳下腺の中を通る顔面神経を損なわないように手術することが重要です。

2) 側頸嚢胞

頸の横に出来る袋状の腫れ物です。多くの場合数年かけてゆっくり大きくなり、痛みや熱などはありません。通常、手術で切除することが必要です。

3) 正中頸嚢胞

頸の正中で「のど仏」のすぐ上に出来る袋状の腫れ物です。顔を上げると目立ちます。切除が必要な腫れ物で、近くの小さい骨と絡んでいますので、その骨の一部と一緒に切除することで完全に摘出できます。

主な悪性腫瘍（癌）の手術の内容を簡単に説明致します。

1) 舌癌

舌の両端のどちらか一方に出来ることが多いです。小さいうちに診断された場合には切除のみで治療し、大きな後遺症は残りません。しかし、癌が大きくなってからの治療では大きい手術が必要になります。手術は舌癌の切除、切除して欠けた舌の再建、頸部のリンパ節の掃除が主な内容です。

2) 喉頭癌

喉頭癌は多くの場合声帯に出来ます。声帯に癌が出来ると癌が小さいうちから声嘎れが始まります。そのため声帯に出来る喉頭癌は小さいうちに見つかることがよくあります。その場合には放射線治療で小さい癌は治ることがあります。しかし放射線治療後に癌が再発したり、癌が大きくなってしまった場合には手術が必要になります。よく行われる手術に喉頭全摘術があります。

3) 中咽頭癌

のどの中でも扁桃に出来る癌は抗癌剤治療や放射線治療が有効のことがあります。しかし、舌の奥側に出来る癌は抗癌剤治療や放射線治療が無効の

ことが多く、ほとんどの場合手術が必要になります。舌の奥側の癌を切除するだけで済めば良いのですが、癌が大きい場合には癌だけでなく舌や喉頭も一緒に摘出しなければならないこともあります。摘出により欠如した舌は形成外科的再建により元に近く形を作ることが出来るようになりますが、残念なことに声が出なくなったり、食事が思うようにとれなくなったりする後遺症が残ることがあります。頸部リンパ節の掃除も合わせて行われます。

4) 下咽頭癌

声帯に近いのどの奥に癌が出来ても癌が小さい初めのうちは症状がなく、癌が大きくなるまでなかなか本人も気付きません。癌が大きくなると食事が通り難くなったり、飲み込むときのどに痛みを感じたりします。のどの奥に下咽頭癌が出来て大きくなってしまうと、ほとんどの場合に治療として手術が必要になります。手術の内容としては第一に癌を切除することですが、下咽頭癌は声帯のすぐ近くに出来るため声帯も一緒に切除せざるを得ないことがよくあります。第二に頸部リンパ節に癌細胞が広がるが多いため、頸部リンパ節の掃除も必要です。第三に癌の切除でのがが欠如しますのでお腹から小腸の一部を取ってきてのどの再建をすることもよくあります。

5) 甲状腺癌

一般的に頭頸部の癌は男性に多く生じます。しかし、甲状腺癌は女性にも多く発生します。甲状腺癌は抗癌剤や放射線が無効な癌で治療法は手術が主体です。癌の出来ている甲状腺の部分を切除することが必要です。小さい甲状腺癌の場合には甲状腺をうまく切除することで治療できます。しかし、長年癌を治療せずにそのままにしておいたり、癌が大きくなってしまったりすると、癌が頸部リンパ節に広がったり、気管の壁に広がったり、声を出す神経に広がったりします。その場合には大きな手術が必要になります。手術の内容としては癌の切除、頸部リンパ節の掃除、気管の壁に広がった場合は気管の壁も同時に切除、声嚙れがある場合には声を出す神経も一緒に切除してすぐに再建、が考えられます。

6 癌になり易い生活習慣

頭頸部の癌は一般的に男性に多く発生します。その理由は頭頸部の癌の発生に酒とタバコが大きく関与し、酒タバコを沢山呑むのは男性に多いからです。男性女性に拘わらず、毎晩酒を飲む習慣を長く続けるとのどに癌が出来ます。毎日 2 箱もタバコを長年吸い続けると喉頭に癌が出来ます。酒もタバコも毎日沢山呑めば、誰でも早くから癌になり易いでしょう。若い頃から生活習慣を改善し、酒タバコを少なくすることが将来癌になり難くするための重要な対策です。